

栃木県経営品質協議会/栃木県経営品質賞

◆ 栃木県経営品質協議会（1999年10月18日設立）

「栃木県の中堅・中小企業が輝かしい21世紀型企業を志向し、日本経営品質賞並びに栃木県経営品質賞にチャレンジできる体質づくりに寄与する」ことを目的に、県内経済6団体のトップが発起人となり設立されたのが栃木県経営品質協議会です。現在の登録会員は35組織(個人会員含む)です。

当協議会は「経営品質研究会」、「経営品質アセスメントコース」などを開催しながら、経営品質向上プログラムの中核に位置づけられている「アセスメント基準」の考え方の普及促進と、自社の経営を評価できるセルフアセッサの養成を継続して展開しております。協議会主催のアセスメントコース認定登録者は120名を数えます。令和年2月

◆ 栃木県経営品質賞（2000年8月1日創設）

栃木県経営品質協議会が推進母体となり、経営品質向上活動の普及を目的に日本経営品質賞の県版として創設されたのが、栃木県経営品質賞です。この賞の表彰は大規模部門と中小規模部門の2部門で、それぞれ「県知事賞」「栗原義彦賞」「会長賞」「優良賞」を設け、簡便な報告による、「ベーシックアワード」も新設しています。本賞申請は、「27」組織で、栃木県経営品質賞・知事賞は「7」組織が受賞しています。R3年3月現在

◆ 栃木県経営品質協議会/栃木県経営品質賞委員会の組織

